

ぴゅあ-time

2025.Spring

キャリアフィットグループ社内報

昭和60年10月24日創業

社長からご挨拶



代表取締役社長
村上真也

皆様の尊いご精勤、ご愛顧のお陰様で無事2025年を迎えることが出来ました。謹んで深く感謝申し上げます。誠に、迎える一年も引き続き宜しくお願い致します。

昨正月は年始の震災や衝撃的な飛行機事故とその事故対応を目的の当たりにし、防災への自戒や訓練の尊さに触れ大いに考えを巡らせた新年でした。そして当グループ(CFG)にとつては新たなチャレンジによる生みの苦しみ、試行錯誤の刻でした。反面、苦しみ抜き心を砕いた分、好機にもめぐり逢いました。例えば旧西友様各店舗のイオン様への譲渡に際した取引拡大等、結果大きな成果で締め括る年の瀬。この戦果はCFGメンバーズの連携による総合力の証明、即ちグループシナジーの結晶です。それぞれの尽力に重ねて敬意を表します。

CFGは永續発展を掲げ、明るい未来を創るため例えば2030年にあるべき理想像から逆算し今この時期に何をすべきかを考え、それらを長期指針「ビジョン30(V30)」として掲げ日々経営に当たっています。

私がこの様な長期指針を提唱し始めたのは初期長期指針「ターゲット25(TG25)」からです。副社長時代の2011年に提唱したこの取り組みは、その当時は遠い将来であつた2025年に向けての様な目標を掲げるか。そのために何に挑戦するかを十指針にまとめた道標でした。今では当たり前となつている取り組みもその当時は夢物語。一つ一つ丁寧に取組み2025年を迎えた今、未達成事項は最後の二つを残すのみです。

未来社会分析をする上で当時参考としていた人口推計資料を今改めて検証すると、いささか極端な減少予想であつたとの感想を持ちますが、人口減少局面であることに違いありません。人口減少を補う施策として、アクティブシニア活躍、海外からの労働力招聘、

自動化へのシフトなど複数企画しました。それぞれ足がかりが得られておりTG25の後継長期指針「ビジョンV30」でそれら指針が成長要因となることと期待します。

そして肝要なのは、それら長期ビジョンの大原則は、携わるより多くの方々の「幸せ」実現でなければならぬ事です。2023年から掲げる新企業憲章のメッセージは「**幸せエンジンCFG**」。当グループの躍進そのものが幸せづくりのキッカケとなり、エンジンのように作用することを表現した次第です。そして、敢えてパワーユニットではなくエンジンなのです。

CFG社史の2025年現在に携わる我々約千人の現CFGメンバーがこれから更に先の時代を担う多くの同志と出会うためにも、より明確に明るい未来を予感させる今を担う必要があります。私は「社長係」として企業憲章やビジョンの通訳として勤めを全うする所存です。そして、2025年全て先人達の尽力で築き辿り着いた40周年をより豊かに彩ります。

この1年の近未来考察で締め括ります。直近の2年間、当グループは「クロス×掛け算」を合言葉として活動しております。数多くのブランド・サービス事業部門があり、それらを掛け合わせることで融合やシナジー効果を生むことが主旨です。2024年その成果が著しく、躍進を得る事が出来ました。引き続き掛け算は続きます。次に今「地域」もこの掛け算に加える刻です。さてどのような成長が成されるものか。希望に胸躍ります。

忘れてはいけません。それらの源泉は現業1ポスト毎の積み上げです。各所従業員のご精勤とそれを黒子となり支える本部員の協働効果であり、ご用命下さるご愛顧先様のおかげ様です。そして我々を育む地域社会からの享受です。より社会に求められるサービス集団を目指して、この1年もどうぞよろしくお願い致します。



キャリアフィットグループ 令和7年新年会開催報告

キャリアフィットグループでは毎年1月に従業員の方をお招きして新年会を行っております。日頃の皆様の労をねぎらい、他の現場の仲間たちとも積る話も盛り上がる、年に一度の大切な交流機会となっています。



それぞれの現場から
スタッフさん達が
大集合!



新年会の前回は経営計画会議も開催



スローガン表彰式



年の初めのお楽しみ!



村上社長からの挨拶



取締役 小澤さんから
締めのご挨拶



いいもの当たっちゃいました!



写真撮影担当
阿部さんです



景品もたくさん!



HOKKAIDO YELLOW STARS 男子プロバレーボールチーム **イスタ・快進撃中!** 3月8・9札幌 / 15・16函館 / 22・23札幌で **ゲーム開催!!**

第59回交通安全スローガン

もらい事故 リスクを減らせる 防衛運転
本部 教務課 三浦 智也

入選 毎日の 慣れた道でも 落とし穴
マネジメント支社 渡辺 昇

入選 暗い道 フラッと出てくる 高齢者
CFGケアシステム 柴谷 真規夫

佳作

ハイビーム こまめに活用 事故防止 **サウス支社 渡邊 一美**

家族の待つ顔思うなら、逆に下げよう速度計 **北関メンテナンス 秋吉 隆仁**

工事中 イライラせずに ゆとり持つ **CFGケアシステム 柴谷 真規夫**

忙しい ゆとりのなさが 落とし穴 **トラスト支社 吉田 博之**

着信音 確認するのは 停車後に **サウス支社 木下 和子**

こちらは、今年1月に選考・発表された受賞作品です。
次回作品募集中! 狙おう特選、豪華賞品贈呈!

第55回業務災害防止スローガン

報告・連絡・相談が安全職場の三本柱
マネジメント支社 松居 孝幸

入選 手慣れた作業と油断せず 初心の気持ち忘れない
CFGケアシステム 玉木 夕子

入選 疲労の蓄積事故の元、休憩取ってリフレッシュ
トラスト支社 高橋 佳則

佳作

夜ふかしは 明日の判断 くもらせる **本部 教務課 三浦 智也**

変だなと思ったときには要確認 **トラスト支社 高橋 功**

確認は災害防ぐ第一歩 **CFGケアシステム 佐々木 幸雄**

新人を 教えるベテラン できてない **トラスト支社 長尾 有洋**

聞く耳が 相談呼び込み 事案を防ぐ **トラスト支社 高谷 和広**